
涼宮ハルヒの架空

おれんじじゅーす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涼宮ハルヒの架空

【Nコード】

N28280

【作者名】

おれんじじゅーす

【あらすじ】

高校2年になって、俺達SOS団はなんと新入部員を迎えてしまった。部員数が増え、さらに騒がしくなった団であるが、その新入部員もまた3年前の出来事を語り出す。一体この世界はどうなっているのだろうか。そしてまた俺はいろいろとんでもない光景を目にしたり、ハルヒに振り回されたり。俺はなんでこんな目にあわなければいけないのだ！

涼宮ハルヒの架空 キャラ紹介（前書き）

私の知人が多忙により小説の執筆を停止しました。
意思を引き継いで書かせていただきます。

まだまだ未熟ですが読んで下されば幸いです。

涼宮ハルヒの架空 キャラ紹介

私の知人が書いていた小説からキャラクターを引用した上、追加してあります。

また、その知人の書いた内容は時系列に含まず、最初からの執筆となります。

メインキャラクター

キョン (Kyon, 本名不明)

本作の主人公。県立北高校1年5組(原作9巻『分裂』から2年5組)の男子生徒であり、SOS団団員その1。身長170cm。全作品を通しての語り手でありツツコミ役も兼ねる、涼宮ハルヒ絡みの厄介ごとを背負い込む苦勞人。「キョン」というのはあだ名で、彼の叔母が彼の本名をもじって呼び、それを彼の妹が広めたもの。本名は作中で一度も呼ばれたことがないため不明。なお、本人はあだ名で呼ばれることを快く思っていない。家族構成は、両親と妹。

涼宮ハルヒ (Haruhi Suzumiya)

本作のメインヒロイン。北高1年5組(原作9巻『分裂』より2年5組)の女子生徒であり、SOS団団長。身長158cm。キョンと同じクラスで、キョンのすぐ後ろの席に座る(何回席替えをしても、ハルヒの能力のためか位置関係は不変)。入学当初は腰まで伸びるストレートヘアで曜日ごとに髪形を変えていたが、キョンにそのことを指摘されて以降は肩にかかる程度の長さで揃えている。黄色いリボン付きカチューシャがトレードマークで、小学校時代から愛用している。

実は「どんな非常識なことでも思ったことを実現させる」という、

神にもなぞらえられるほどの力を持っており、そのため様々な組織が彼女に関心を抱いている。だが本人はその力に全く気付いておらず、無自覚の内にそれは具現化され、キヨン達は毎度それに翻弄されている。

長門有希（Yuki Nagato）

北高1年6組（原作9巻『分裂』より2年）の女子生徒であり、唯一の文芸部員。身長154cm。ハルヒが文芸部室を乗っ取った際、SOS団団員その2として組み入れられた。ハルヒ曰く「SOS団に不可欠な無口キャラ」。いつも無口で無表情だが、知識欲・食欲は旺盛。谷口曰く「容姿はAランク・（マイナー）」。「読書を好み、いつも何かしらの本を読んでいる。感情表現に乏しく、表情の変化はほとんどない上、口を開いても淡々と短い言葉でしか話さない。自宅室内を含むほとんどの場面で北高の制服を着ており、冬場はその上にダッフルコートを着る。小柄かつ起伏の小さい体型で、キヨン曰く体重も軽い。

その正体は、情報統合思念体によって造られた対有機生命体コンタクト用ヒューマノイド・インターフェイスであり、簡単に言えば宇宙人。

朝比奈みくる（Mikuru Asahina）

北高2年2組（原作9巻『分裂』より3年）の女子生徒であり、SOS団副々団長兼書記。身長152cm。ハルヒが「ロリで巨乳な萌えマスコットのキャラ」として拉致してきた。キヨンに「朝比奈さんより可愛い生物はいない」、谷口に「朝比奈さんを泣かせることは学校の半分（男子全員）を敵にする」と言われるほどの超美少女であり、北高のアイドル。髪は栗色のロングヘア。左胸の上に星形のほくろがある。運動神経は良くない。元々は書道部に在籍していたがハルヒによって退部させられ、SOS団専属のメイド兼マスコットとなる。第7巻『陰謀』で、バレンタインデーの翌日に実

施したイベントで巫女に扮し、団の活動費を調達した功績により、ハルヒから副々団長に任命された。

その正体は、はるか未来から来た未来人でハルヒの監視係である。

古泉一樹（Itsuki Koizumi）

北高1年9組（第9巻『分裂』より2年9組）の男子生徒であり、SOS団副団長（『想像』より団長補佐）。身長178cm。5月という半端な時期に転入してきたことから、ハルヒに「謎の転校生」としてSOS団に勧誘された。いつも微笑を浮かべ穏和な物腰をしており、同級生に対しても常に敬語を使う。在籍している1年9組は、理数系の特別進学クラス。頭も運動神経もよく美形でもあり、女子生徒からの人気は高い様子。第3巻『退屈』収録「孤島症候群」でのゴージャスな夏休み合宿の企画立案の功績により、ハルヒから副団長に任命される。

その正体は超能力者であり、その集団である組織・「機関」に所属している。ハルヒの精神状態の不安定が原因で発生する「閉鎖空間」への侵入と、その中で破壊活動を行なう「神人」を倒す能力をもつ。

綿雨麻理（Mari Wataame, Asari Wataame）

知人小説『涼宮ハルヒの活動』からの登場オリジナルキャラクター。『架空』より北高1年の女子生徒。SOS団副々団長。身長156cm。SOS団とは、キョン達が1年のときの秋に出会っており、自分からSOS団に入団してきたSOS団団員その3。名前の読みは「あさり」と「まり」があり、どちらが本当かは現在是不明。キョン曰く美少女。長門とは昔にあったことがあるらしい。入団試験の結果で副々団長に任命されている。

瞬間移動能力を有しており、普通の人間のようにも思えないが、人間である。なお、彼女とキョンは、キョンが1年のときの秋に出

会っている。

時雨秦（Shin Tokisame）

知人小説『涼宮ハルヒの活動』からの登場オリジナルキャラクター。綿雨同様、キョンが1年のときの秋にキョンと出会っている。綿雨とは仲間である。所持能力は相手の行動を予知することができる行動予知能力である。

ゲストキャラクター

鳥川（Torikawa）

名前は不明。ハルヒの能力を利用して陰謀をたくらんでいると思われる1人。何処に所属しているのは不明。詳細は情報統合思念体にもわからないとされる人物である。さらに男なのか女なのかも不明。

涼宮ハルヒの架空 キャラ紹介（後書き）

オリジナルキャラクターの由来

綿雨麻理（知人より）

名字・・・小さい頃からわたあめ（菓子）が好きだった。

名前・・・貝類（特にアサリ）が嫌いだった。当て字にしたらこうなった。

時雨秦（知人より）

名字・・・キャラ考案時、時雨だったため、読みをしぐれ　ときさめ
名前・・・あ、これ適当だわ／＼／（おいおい

鳥川（私）

鳥が好きだから。何で”川”がついたのかは不明。なんとなくこう
なりました（あ

涼宮ハルヒの架空 時系列順

このページには、涼宮ハルヒシリーズ（原作小説）と活動（オリジナル小説）を時系列順にしてあります。

学年はハルヒの学年です。

中学1年

* 7月*

- ・ 笹の葉ラプソディ（時間遡航時）
- ・ 涼宮ハルヒの消失（時間遡航時）

中学3年

* 3月* 編集長 一直線！（キヨンの小説）

高校1年

* 4、5月* 涼宮ハルヒの憂鬱

* 6月*

- ・ 涼宮ハルヒの退屈

* 7月*

- ・ 笹の葉ラプソディ
- ・ ミステリックサイン

- ・ 孤島症候群

* 8月* エンドレスエイト

* 10月* 涼宮ハルヒの架空（時間遡航時）【

* 11月*

- ・ 涼宮ハルヒの溜息
- ・ 朝比奈ミクルの冒険 Episode 00
- ・ ライブアライブ
- ・ 射手座の日

＊12月＊

・涼宮ハルヒの消失

・ヒトメボレLOVER

・雪山症候群

・猫はどこに行った？

＊1月＊ 朝比奈みくるの憂鬱

＊2月＊ 涼宮ハルヒの陰謀

＊3月＊

・編集長 一直線！

・ワンダリング・シャドウ

高校2年

＊4月＊

・涼宮ハルヒの分裂【2】

・涼宮ハルヒの架空【EP2】

＊5月＊

・リターンズ・ゴールデン【EP3】

・感染型五月病【3EP?】

＊6月＊

・涼宮ハルヒの孤独【3EP?】

＊7月＊ 深海症候群（EP?）

＊8月＊ 涼宮ハルヒの創作【EP?】

＊11月＊

・涼宮ハルヒの落胆【EP?】

・ライブライブ2【EP?】

・朝比奈みくるの冒険 Episode 01（EP?）

この小説のオリジナル作品です。

1 過去におきた出来事について述べており、実際の時系列は高2の4月。サブタイトルは『秋山症候群』

2 新キャラクターもしくは新展開があるため、このエピソードとオリジナルが矛盾する可能性大。

3 知人小説にもあったサブタイトルですが、多分内容は変わります。

涼宮ハルヒの架空 時系列順（後書き）

さて、本編を書き始めますか！。

涼宮ハルヒの活動 プロローグ

また嫌な1年がはじまるうとしていた。

SOS団が発足してほぼ1年。去年は散々だった。

ハルヒの作る同好会、いやそんなでもなかったか……。に、無理やり付き合わされ、朝倉さんとかいうのにいきなり殺されそうになり、朝比奈さんにTPDDだとかいう機械で三年間も時間をとめられ、野球大会に参加しては長門のインチキで優勝候補を打ち負かし、古泉と一緒にハルヒの閉鎖空間に連れて行かれ、夏休みには早速孤島で、古泉計画のドッキリ殺人事件を見事解決して、夏休み後半にはハルヒに振り回されてエンドレスに繰り返し、そんな8月後半を体験した15498回目の俺たちがいまここにいて、ハルヒが軽音ライブに長門と参加し、コンピ研とシューティングゲームといったようなものでゲームで勝負して、長門大活躍の日があつて、そして12月には俺にとっては悲しい出来事だった、古泉、本来の朝比奈さん、長門がいなくなり、朝倉が戻り、それが夢であったことを願い……。なんて1つ1つあげていけばきりが無い。ざっと出来事を細かく書いていけば原稿用紙がエベレスト山より高くなるほど積み上げても書ききれないのだろう。いくら少なくとも1日だけで原稿用紙10枚はいけそうだな。

何故俺がSOS団を抜けなかったのだろう。とりあえずそれが一番の疑問、俺に聞きたい。これが普通で純真な心を持った人間だったならば、こんな団なんて投げ出してどこか他の学校へ転校してしまいうそである。まあ、ハルヒのことなのだから転校したって追っかけまわすにきまつてるんだけどな。朝比奈さんをみてもらえば分かるだろう。ハルヒの先輩であるという立場ながらいつもハルヒに散々振り回され、いつ逃げ出したっていいくらいだ。

もちろん、今まで述べてきたことはほんの一部にすぎない。だが書かなくたってもうおわかりだろう、日本国民全員にアンケートをと

つたら、ハルヒ以外は呆れる内容に決まっている。

「未来人、宇宙人、超能力者」を探すのだったらまだ、オカルト研究会なんてのが存在するわけだが、「遊ぶ」なんて部活や同好会、聞いたことも無い。呆れて当然のことであろう。

未来人、宇宙人、超能力者がいるなんてほとんどの人間は興味半分で言っているのだろう。しかしハルヒは面白半分ではない。真剣なのだ。そして、現に未来人、宇宙人、超能力者が存在するのである。現に目撃してしまったのだから今更信じないこともないだろう。

古泉曰く、それが未来人、宇宙人、超能力者を呼び寄せた原因なのだろう。俺は思う、未来人、情報統合思念体、機関はもしかしてハルヒが想像したのかもしれない、と。

さて、前置きはそれぐらいにしておいて、本題に入ろうか。

今回は今までに述べられることのなかった1年の時の出来事をいくつか紹介しつつ、俺が高2で送った生活のお話をしたいと思う。前にもいちど言ったと思うが、誰か1人でも俺の抱えることになった名状しがたい気分を共有してもらえたら本望である。

隠す必要性も無いから1つあかしておこう。なんということか、我らがSOS団に団員が一人増えてしまったのだ。高1だから、俺たちの後輩にあたる訳なんだが、まさか団員が入ってくるとは想像もしてなかったのだから。

とりあえず、その話をさしてもらおうと思う。

涼宮ハルヒの活動 プロローグ（後書き）

知人小説を読んだ方はこちらの小説文が似ていると思っているかもしれません。更新停止した知人の小説の世界観に少し沿った内容もとりにれていきたいためにそうなっています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2828o/>

涼宮ハルヒの架空

2010年10月14日01時40分発行